

特集 さまざまな課題に対応するために

GETのパートの指導

—文法、語彙、本文、言語活動をどうつなげるか

梶 葉みつ子 (広島大学)



NEW CROWN の GET と USE

1つの課が GET と USE のパートで構成され、文法を導入し練習をさせる GET から、文法を活用させる USE へと発展していることが、NC の大きな特長である。GET のパートでは、文法の意味と形式だけではなく、どのような場面でどういう働きのために文法を使うのかも理解できるように、本文と言語活動の内容が工夫されている。また、ヒントとなる語彙が示されているため、文法を使う練習をさせやすい。これらの NC の特長や工夫を生かした GET のパートの指導例を紹介する。

指導例 (Bk1 L8 School Life in the USA)

1. GET Part 1 の目標と授業構成

本課の内容は、アメリカの学校生活についての写真や絵を用いた説明であり、新出文法として現在進行形が使われている。その内容や文法を活用して、本課の目標の1つを、「身近なものについて、写真や絵を用いて簡単に説明する」と設定できる。

GET Part 1 の目標は、本課の目標と関連させて、「現在進行形を用いて写真や絵の人物の動きを説明する」とする。授業構成の各段階で使用する教科書のパーツと、ねらい及び学習内容は次のようになる。

(1) 本文の場面と文法の導入

人の動きを説明する場面で使うことを示すために現在進行形を用いて本文の内容を導入する。

(2) 基本本文による文法の説明と Drill による練習

現在進行形の意味と形式を知らせ、機械的な練習をさせて、形式の定着を図る。

(3) Practice と Word Bank による練習

現在進行形を場面と結びつけて使う練習を、理

解から表現へと段階的に行わせる。

- (4) 語彙の発音練習と本文の内容理解・音読練習
語彙の発音練習の後、本文の読解、音読練習をさせ、内容を再話させる最後の活動につなげる。
- (5) 本文中の写真や絵の説明
GET Part 1 のゴールとして、本文中の写真や絵の人物の動きを説明させる。

2. GET Part 1 の指導過程

(1) 本文の場面と文法の導入

Words

- student(s)
- language
- read
- speech
- make
- poster
- group
- in a group

White ホワイト(人の姓)
language arts
言語芸術(科目の名前)

These are pictures of Ms White's classroom. The students are studying language arts. Look. This girl is reading. This boy is practicing a speech. These students are making a poster in a group.

What does Ms White teach?

- ① ポールが話している様子や授業風景を表す絵を見せて、本課の場面や、絵の中の人物の動きなどを説明する。

T: Paul is talking about his friends' school life in the USA. Look at these pictures.
This is Ms White. She is teaching. These students are studying. What is this girl doing?

S: Read a book?

T: Yes, she is reading a book. (以下略)

このような教師と生徒による簡単なやり取りによって、場面を理解させる。

- ② 本文の音声を聞かせ、写真は何の授業か等の発問によって、あらましを理解させる。

(2) 基本本文による文法の説明と Drill による練習

現在進行形

●肯定文
[～しています]

Tom studies math every day.
Tom is studying math now.

Drill

1 Listen & Choose 2 Listen / Repeat / Say 3 Write

Tom Miki Koji Tom and Amy

- ① 基本本文を用いて文法の説明をする。本課の目標との関連や使用場面についての説明も加える。
- ② Drill を用いて、次の順に練習をさせる。
- a) 1 Listen & Choose (音声を聞かせ、その英文が表している絵を選ばせる)
- b) 2 Listen / Repeat / Say (絵の人物の動きを表す英文を音声で聞かせたり、繰り返して言わせたり、絵を見て言わせたりする)
- c) 3 Write (絵を見て英文を正しく書かせる)

(3) Practice による練習

Practice

1 Listen 丘先生が写真に写っている人について話します。話を聞いて、だれのことを説明しているのか、絵の中の()に番号を書き入れよう。

2 Speak この教科書の中から絵を1つ選び、ペアの相手に説明しよう。聞いた人は、どのページの絵か、当てよう。(Word Bank)

A: Emma is watching birds. Where's this picture in the textbook?
B: It's on page 52.

3 Write 2で話した内容をまとめて書いてみよう。

Emma is watching birds on page 52.

Word Bank

いろいろな動作

talk with friends listen to music read a book write a letter

learn karji stand by the door play catch drink some water

●例にならって書いてみよう。 The girl is listening to music.

- ① 1 Listen では、誰のことを説明しているかを聞き取らせる。
- ② 2 Speak の活動のヒントとなるよう、Word Bank の語句を導入し、発音練習をさせる。

- ③ 2 Speak では、Word Bank の語句などを手がかりに、教科書の中から絵を選んで説明する、どの絵の説明かを当てるといった、発展的な練習を行わせる。ペアで取り組ませる前に、教師が生徒と一緒に実演するとよい。また、絵を選ぶ範囲を指定したり、掲示したピクチャーカードから選ばせたりすると取り組みやすくなる。

- ④ 3 Write では、発話した英文を書かせる。口頭で再度言わせる、時間を区切って書かせる、落としやすい be 動詞に注意を向けさせるなど、効率よく進行する。

(4) 本文の内容理解と音読練習

- ① 本文中の語彙の音声・意味・使い方を説明し、発音練習をさせる。
- ② 本文を黙読させて、発問によって細部を理解させる。
- ③ GET Part 1 の挿し絵を説明することを目標に、内容や表現に気をつけながら音読練習をさせる。

(5) 本文中の写真や絵の説明

GET Part 1 のゴールとして、本文を見ずに、挿し絵の人物の動きを説明させる。

S: Ms White is teaching language arts. This girl is reading a book. This boy is practicing a speech. These students are making a poster in a group.

このように、発話の内容は本文とほぼ同じになる。しかし、本文の意味内容や現在進行形を理解したうえで、絵の説明として行われる発表であるため、GET Part 1 での学習の成果が表われたものとなる。

目標達成のためのつながり

文法、語彙、本文、言語活動のそれぞれを、単にいてねいに扱おうとすると、時間が足りないだけではなく「活用」に結びつかない。本課では、最初に設定した「身近なものについて、写真や絵を用いて簡単に説明する」という目標を受けて、GET の目標を明確にしたことで、文法、語彙、本文、言語活動を全体としてつなげることができた。各課の場面や内容に着目して、GET においても適切な目標を設定し、目的に合ったパーツを用いて、NC の特長を十分に生かした指導をしていただきたい。